

---

# 貸出容器（寒剤用）利用マニュアル

① 基本的なルール

② 利用可能な貸出容器

③ 貸出料金

④ 貸出容器の利用方法

4-1 伊都地区センターでの利用方法

4-2 箱崎地区センターでの利用方法

九州大学低温センター

H23. 8. 14 作成

H26. 3. 4 最終更新

---

## ① 基本的なルール

- ✚ 容器検査期間中や突発的な容器の故障など、数日～数週間の短期貸出しを基本とします。（長期間必要な場合は、できるだけ研究室で容器を購入してください。）
- ✚ 使用者側の重大な過失により、貸出容器に故障等があった場合、修理費用は使用者負担とします。（定期的なメンテナンス費用については、センターが負担）
- ✚ 貸出容器の利用には、利用日前日までに予約が必要です。

## ② 利用可能な貸出容器

- ✚ 液体窒素容器 : 5 リットル容器から 250 リットル容器まで
  - ✚ 液体He容器 : 30 リットル容器から 250 リットル容器まで
- ※様々な容器を準備しています。

詳しくは[低温センターHP](#)各地区の容器貸出ページをご覧ください。



LN2 10 リットル容器



LN2 100 リットル容器



LHe 100 リットル容器

## ③ 貸出料金


- ✚ 貸出料金は、容器の利用当日から積算した日数に乗じて計算します。
- ✚ 科研費等外部資金での支払いが可能です。

液体窒素容器	50 リットル未満	110 円/日
	50 リットル以上 250 リットル未満	380 円/日
	250 リットル以上	880 円/日
液体He容器	100 リットル未満	630 円/日
	100 リットル以上 250 リットル未満	1,100 円/日
	250 リットル以上	2,400 円/日

## ④ 貸出容器の利用方法

- ✚ 貸出容器の利用には、利用前日までに事前の予約が必要です。
- ✚ 貸出容器の利用については、伊都地区センター・箱崎地区センターで方法が異なります。ご利用されるセンターの方法をご確認ください。

### 4-1 伊都地区での利用方法

手順 ①	低温センターHPから伊都地区の寒剤容器貸出ページに入ります。 伊都地区の貸出ページは <a href="#">こちら</a>
手順 ②	 <p>カレンダーにて貸出希望容器の貸出状況を確認後、必要事項を記入し、予約します。 ※カレンダーは準備中のため当面は電話にて対応。 容器の予約はこれで完了します。</p>
手順 ③	同時に寒剤を利用する場合は、「寒剤発注・管理システム」上で、対象容器の容器IDを入力し発注します。
手順 ④	当日、貸出希望容器を受け取ります 「寒剤発注・管理システム」で配送を行う利用者には、寒剤が充填された貸出容器を配送します。

## 4-2 箱崎地区での利用方法

